

研究部の活動 2016年

2016年は、新たに月例探鳥会解析グループ(TBG)の活動が加わります。すでにお知らせしましたように、TBGは日野自動車グリーンファンドの平成27年度助成を受け、都内7カ所20年間の月例探鳥会データを分析し、その報告書を作製することとなりました。

研究部の年間活動は下記の通りです。興味あるものにふってご参加ください。

1. **TBGに参加しませんか**・・・TBG(月例探鳥会解析グループ)は、原則的に、毎月第2金曜日19～21時、会事務所で検討会を開いています。
2. **新・東京都産鳥類目録作り**・・・現在、伊豆諸島・小笠原諸島の鳥類リストを作っています。野鳥記録委員会では初記録・珍しい記録を検討・集積をしています。
3. **定例・特定調査**・・・現在、越冬期調査(水鳥類、タカ類の個体数調査)を実施中。繁殖期調査も実施予定。参加をひろく呼びかけています。
4. **シンポジウム・月例会**・・・シンポジウムは秋に予定。月例会は毎月第2金曜日夜に当会事務所で開催しています。変更もありますので、ホームページなどで確認してください。
5. **研究部レポート・鳥信**・・・随時、原稿・記録・情報募集中。連絡はメール・ハガキ・Faxなどで、鳥名・場所・月日・氏名・連絡先を明記して下さい。
6. **ホームページ**・・・研究部のホームページを開設中。いろいろな情報をアップしますので、ときどきご覧ください。「研究部ブログ」は月2回更新中。

【問合せ・連絡先】(E-mail)office@yacho-tokyo.org (Fax)03-5273-5142 研究部

TBGでどんなことが見えてくるのか・1

東京都内で実施されている、7カ所の月例探鳥会の記録を整理し、検証を始めていますが、その意義がよくわかる例を紹介しましょう。

前号本ページで、今年の越冬期調査2つを呼びかけ、オシドリとオオタカの写真を載せました。明治神宮のオシドリと自然教育園のオオタカですが、この2種の明治神宮探鳥会での記録をグラフ化すると、図1・2のようになります。このようにデータをグラフ化すると、だれでも一目で、“減ってる・増える”がわかり、“なぜだろう？”と考えるきっかけになると思います。

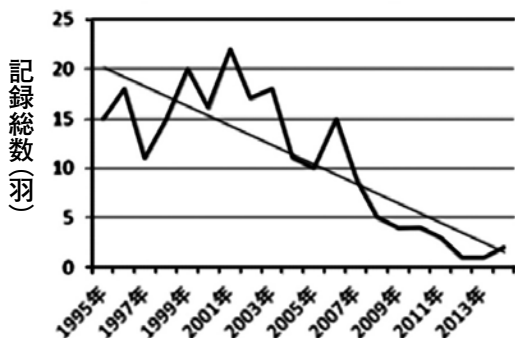


図1 減少続くオシドリ(縦軸は月平均個体数)

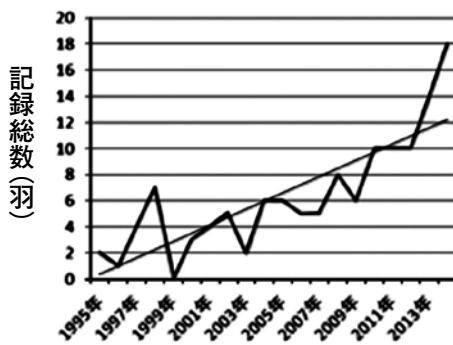


図2 留鳥化進むオオタカ(縦軸は年間総数)

ところで、この2種の関係で、巷では“オオタカが増えたので、オシドリが減った”といううわさが流れています。はたしてそれは本当でしょうか、単なる推測でしょうか。その真相は、今後の分析・解析で出てくると思われます。乞うご期待！